

広島市歯科医師会だより

7 月号

No. 147 (R1. 7. 12)

一般社団法人広島市歯科医師会

HIROSHIMA CITY DENTAL ASSOCIATION

目 次

今月のトピックス

本会会長に熊谷宏氏 1 ページ

行事報告

第 2 回 支部長・副支部長会 6 ページ

第 112 回 定時総会 7 ページ

支部だより

中区支部 9 ページ

東区支部 10 ページ

南区支部 12 ページ

各部からの報告

広報部 13 ページ

FM ちゅーピー 16 ページ

6 月定例理事会報告 16 ページ

新 執 行 部 ス タ ー ト ！

今月のトピックス

本会会長に熊谷宏氏

6月29日（土）開催の第112回定時総会において本会会長に熊谷宏氏（55歳）を選定した。熊谷氏は広島市中区出身、昭和63年東京医科歯科大学歯学部、平成5年同大学院卒業後、平成14年中区西十日市町で開業。平成17年より本会理事、平成23年より副会長を歴任。任期は令和元年6月29日から令和3年6月開催の定時総会終了後までの2年間である。専門は歯科補綴学（日本補綴歯科学会専門医）

会長挨拶

この度、広島市歯科医師会の第25代会長を拝命することになりました。責任の重さに身が引き締まる思いです。

平成17年に小松執行部において情報管理部理事を拝命して以来今日まで、広島市歯科医師会一筋に、会務に取り組む機会を頂いて参りました。



私はその経験の中で、今の広島市歯科医師会が、先輩方の会を愛する思い、そして医療人としての高い倫理観の延長線上に存在しているということを強く感じてきました。この歴史と伝統を感じながら、粉骨砕身努力していきたいと思っています。先生方のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

今回、「柔しく剛い広島市歯科医師会を目指して」と題した会長方針を立てさせていただきました。ご一読いただければ幸いです。

会長基本方針

熊谷 宏

柔（やさ）しく剛（つよ）い広島市歯科医師会を目指して

節目を超えて安定飛行に入った広島市歯科医師会

本会はこの10数年間、一般社団法人への移行、新会館への移転といった大変革を乗り越えてきました。平成の終わりには創立100周年を迎え記念事業も無事終了し、大きな節目を超えたと言えます。

これまで、歴代会長は会員への情報発信の充実、役員への飲食供与の廃止、事務局の整備、IT化の推進など、会員目線による会務執行に真摯に取り組まれてこられました。事務局移転も長年にわたる計画的費用の引当てにより、会員負担も借入もなく念願であった区分所有を実現し、移転後は直ちに次世代の会館のための引当てを開始したところです。

さらには、公益的収益事業である学校健診における歯鏡の滅菌配送事業の開始により、安全安心な健診環境を構築するとともに、本会財務体質は大きく改善し、安定的な法人運営を行うことができています。

このように、本会は令和の時代を迎えた今、大きな節目を超えて安定飛行に入ったと言えます。そこで、今一度歩みを留め足元を見つめ直して将来に備えるべき時だと考えています。

次なる諸課題への準備を

安定飛行にあるとは言え、本会は近い将来乗り越えなければならないいくつかの課題を有しています。喫緊の課題としてすぐに取り組まなければならないのは、会員の高齢化に対する対応です。日本が抱える課題は、そのまま本会の課題とも言えます。会員の高齢化に伴い、終身会員比率は増加し、本会財政にも少なからぬ影響を与えることは必至です。また、入会金を始めとする会費負担の削減や将来の会館建設を睨むと、本会財政をより健全化させるための新たな施策の検討や、税制上の利点のある公益社団法人への移行を検討する段階に入ってきたとも考えています。

これらの諸課題に対しては、思いつきではなく、十分な調査と検討をベースに会員総意で確実に対応を進めていかなければなりません。

若い力で、令和の時代の広島市歯科医師会の基礎づくり

一般社団法人への移行や新会館移転などの大事業へ対応するために、この10数年間は経験豊富な理事会メンバーでその対応にあたってきました。

しかし本会執行部の継続性を考えると、将来の本会を背負って立つ人材の育成が急務だと考えています。そこで、今回の執行部では多くの若い理事を新たに登用することを基本方針としました。安定飛行にある今だからこそやらなければならないと考えています。

会員の先生方に心を寄せた会務執行で組織エネルギーの充填

私は、本会役員生活の多くを、法人移行や会館移転などの担当者として携わってきました。責任あるこれらの事業に携わりながら、ずっと心の隅にあったのは、会員の先生方へ心を寄せることの大切さです。

安定飛行に入った今こそ、①学術団体としての基本に立ち返る学術研修活動の充実 ②会員診療所の経営安定に資する事業 ③会員相互の絆を深める共益事業の充実 など、会員の先生方に心を寄せた事業をより充実させていきたいと思えます。

若い理事が会務を通じて経験を積み、また会員親睦を通じて広島市歯科医師会としての一体感を醸成してくことで、本会が次に乗り越えなければならない諸課題に対するエネルギーが充填されていくと考えています。

ボトムアップで会員総意の会務運営

歯科医師需給問題など山積する厳しい環境の中で、市民のための歯科医療を守るためには、徹底的な情報公開により会員の知恵を集約することが必要です。歯科医師会には多くの優れた能力が隠れています。執行部がトップダウンで会務運営をするなどという驕りは絶対的な誤りです。

奇をてらわず、基本に忠実に会務に携わる所存です。

柔（やさ）しく剛（つよ）く

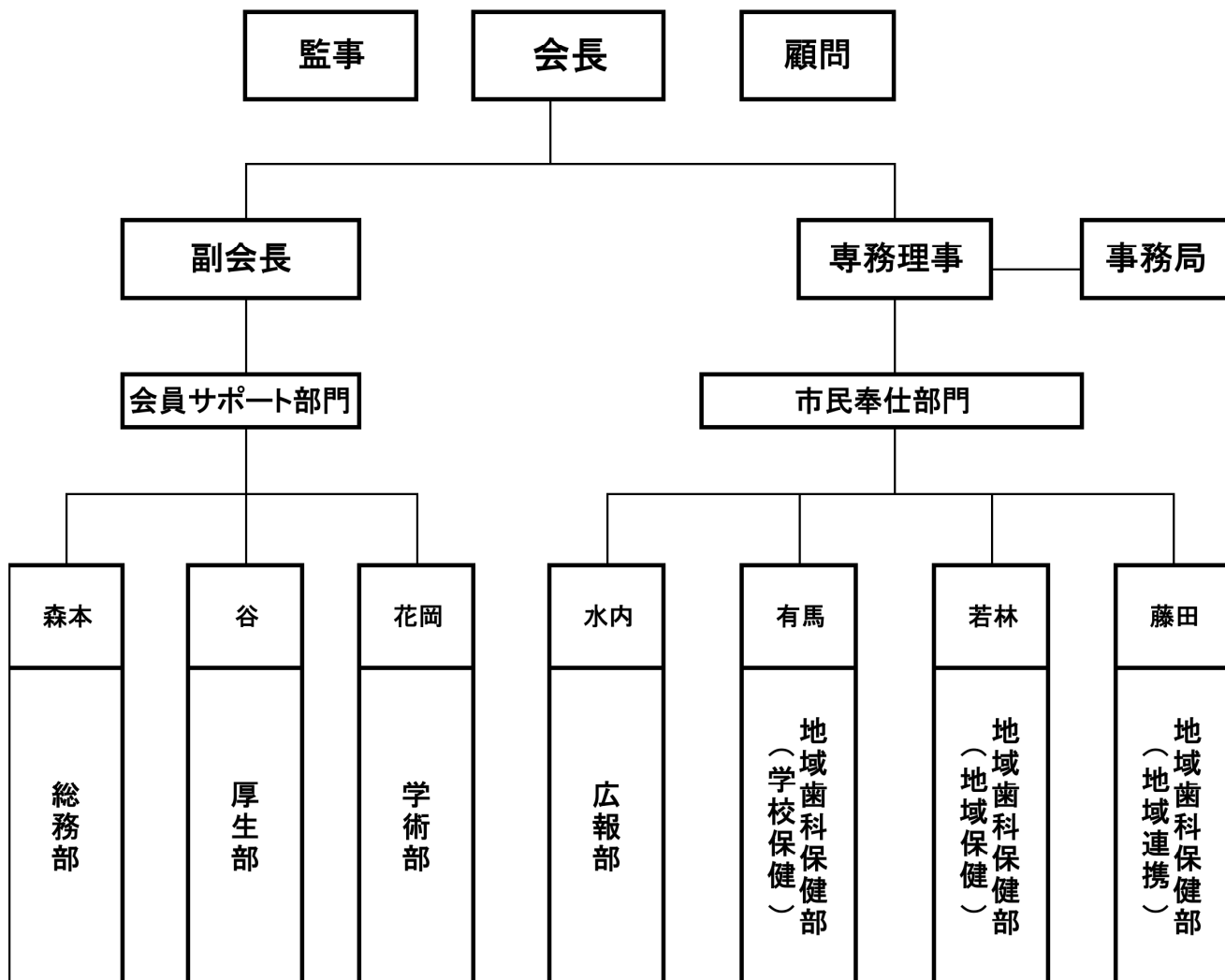
「柔しい」には、やわらかい・やさしい・おだやか という意味があります。「剛い」には、しっかりしている・たくましく、くじけない という意味があります。

会員親睦事業を通じて会員の先生方相互の宥和を図ります。また、近隣の郡市地区歯科医師会や広島県歯科医師会とも調和を図りながら、力を合わせて市民・県民のお口の健康増進に努めていきます。

また、公益法人としてのコンプライアンスを重視することはもちろん、プロフェッションとしての自律性を有し、時代の変化に適切に対応できる剛い組織にするとともに、収益事業の充実を図り財政面でも剛い組織にしていきたいと思えます。また、医療安全や医院経営の面から「会員を守る」ための事業を通じて、会員診療所を剛くしていくことも必要です。

私は、広島市歯科医師会を柔しく剛い組織にしたいと考えています。

令和元年度一般社団法人広島市歯科医師会理事会組織図



令和元年度一般社団法人広島市歯科医師会役員等人事構成 決まる

熊谷宏新会長のもと新生広島市歯科医師会の組織概要が決まりましたのでお知らせいたします。会員一人ひとりの先生方のための歯科医師会です。
令和改元、節目の今、これからの先を見据えて会員皆で歯科医師会を想い、そして作っていきましょう。

役 員

会 長	熊谷 宏		
副会長	瓜生 賢		
専務理事	能美 和基		
理事(総務部)	森本 慎樹	監 事	歌野原 実
理事(学術部)	花岡 宏一	監 事	椿田 直也
理事(厚生部)	谷 巖 範	外部監事	篠原 敦子
理事(地域歯科保健部 学校保健)	有 馬 隆	顧 問	澤田 建彦
理事(地域歯科保健部 地域保健)	若林 大輔	顧 問	森本 克廣
理事(地域歯科保健部 地域連携)	藤田 友昭	顧 問	土江 健也
理事(広報部)	水内 裕之	顧 問	川原 正照
		顧問弁護士	加藤 寛

広島県歯科医師会代議員 及び 予備代議員 一覽

代 議 員		
役 員	瓜 生 賢	能美 和基
	水内 裕之	有 馬 隆
中区支部	波田 佳範	香川 次郎
	山本 正純	菊崎 民子
	佐野 隆志	後藤 光宏
	三次 みさと	
東区支部	寺 迫 環	山崎 和広
南区支部	古谷 知之	木村 一水
	石川 潔	伊達 弘恵
西区支部	角田 達彦	山崎 徹
	山崎 香	大坪 宏
予備代議員		
役 員	谷 巖 範	若林 大輔
	森本 慎樹	花岡 宏一
中区支部	石嶋 誠司	前田 羊一
	竹本 元秀	林 靖一郎
	今井 正人	鈴木 良貴

	尾山 奈々子	
東区支部	野村 登志夫	竹本 美保
南区支部	橋本 直典	河原 利哉
	福井 康人	内田 雄士
西区支部	竹田 芳弘	今井 多聞
	杉原 陽一	引地 渉

支部長・副支部長

	支部長	副支部長
中区支部	波田 佳範	香川 次郎
東区支部	野村 登志夫	竹本 美保
南区支部	古谷 知之	橋本 直典
西区支部	角田 達彦	竹田 芳弘

行事報告

第2回 支部長・副支部長会議

日時：6月19日(水)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

執行部から川原正照会長、熊谷宏副会長、本山智得専務理事が出席した。

始めに川原会長より、「本日は現支部長副支部長だけでなく、次期の支部長副支部長にもご参集して頂き、引継ぎもかねて開催させていただきます。本日もよろしくお願いたします。」との挨拶があった。

執行部

・総会出席、議決権行使書回答率(6月19日現在)

中区 60.1%

東区 55.1%

南区 59.2%

西区 65.2%

総会出欠期限日 6月21日(金)

中区支部

5月9日 広島市歯科医師会第4回役員報酬検討委員会
5月17日 中区地域ネットワーク会議
5月18日 協同組合総代会
5月24日 中区支部総会
5月28日 本会選出県代議員打合せ会議

6月7日 中区地域対策協議会理事会
6月8日 (県)第145回定時代議員会
6月14日 中区支部理事会

東区支部

4月11日 学校歯科医協議会
4月17日 第1回支部長・副支部長会議
4月26日 東区地域共生社会の実現に向けたネットワーク会議
5月14日 第2回広島市東区感染管理ネットワークセミナー
5月15日 第1回東区子育て交流ひろば運営協議会
5月18日 比嘉なつみ氏講演会、第74回県歯連盟臨時評議員会
" 協同組合総代会

5月21日 第3回在宅医療介護連携企画会議
5月28日 本会選出県歯代議員打合せ会議
6月8日 (県)第145回定時代議員会
6月9日 おくちの健康展
6月13日 歯周病予防教室(野村)
6月19日 東区歯科相談日(竹本)
〃 第2回支部長・副支部長会

南区支部

5月9日 広島市歯科医師会第4回役員報酬検討委員会
5月14日 新入会員面接
5月18日 比嘉なつみ氏講演会、第74回県歯連盟臨時評議員会
〃 協同組合総代会
5月20日 南区支部役員引き継ぎ会議
5月23日 南区支部理事会
5月28日 本会選出県歯代議員打合せ会議
6月8日 (県)第145回定時代議員会
6月12日 南区支部総会
6月19日 第2回支部長・副支部長会

西区支部

5月9日 広島市歯科医師会第4回役員報酬検討委員会

5月14日 西区支部会員に県代議員立候補呼びかけ FAX 送信
結果一名が立候補
5月18日 比嘉なつみ氏講演会、第74回県歯連盟臨時評議員会
5月20日 代議員立候補は一名のみだったので、個別に依頼
予備代議員も含め8名決定を広島市歯科医師会選挙管理委員に報告(代議員:角田達彦、山崎徹、山崎香、大坪宏)
(予備代議員:竹田芳弘、今井多聞、杉原陽一、引地渉)
5月27日 地域保健対策協議会
5月28日 本会選出県歯代議員打合せ会議
5月30日 観音圏域医療と介護の連携会議
生協けんこうプラザ講演 ACP
6月8日 (県)第145回定時代議員会
6月13日 西区支部6月支部例会

協 議

①中 区

- ・豪雨、台風、地震などの自然災害における広島市歯科医師会の役割について
- ・麻疹等流行時のイベント開催について

第 112 回 定時総会

日時：6月29日(土)午後4時

場所：県歯会館2階「ハーモニーホール」

議長 中本雅志氏、副議長 平尾慶太氏

議事録署名者 中区 今村典裕氏、南区 岡野聡氏

広島市歯会第112回定時総会は、本山智得専務理事の開会の辞より始まった。

まず、昨年4月1日以降に物故された会員の先生方(東区支部 中西恵治先生、南区支部 吉光卓三先生、中区支部 小松昭紀先生、中区支部 清水徹先生、西区支部 杉原洋通先生、西区支部 角田和子先生、西区支部 佐々木徳雄先生)へ全員で黙祷を捧げた。

次に、川原正照会長より「広島市歯科医師会事務局機構の移転事業と、創立100周年記念事業という、本会の歴史の中でも、大変大きな事業に関わらせていただいた事を、大変光栄に思っております。現執行部同様、熊谷次期会長が任命する執行部に対し、私以上にご理解を賜り、公に資する歯科医師会の構築に会員の先生全員の参加をお願いいたします。」と挨拶があった。続いて、甲野峰基県歯

会長より「会長予備選挙における多くの先生方からのご支援に対し感謝を申し上げます。私は、会長予備選挙におきまして皆様方にお約束いたしました公約、正しい情報を先生方にお示しし、それに基づき会員の先生方から広く意見を吸い上げていく、ボトムアップの運営で一つ一つ実行していきたいと考えております。」との来賓挨拶を頂いた。

続いて、古稀会員(山野久美子氏、今田和秀氏、中山隆史氏、鎌田一道氏、柄博治氏、名原行徳氏、大平勇治氏、石井みどり氏、木本極氏、佐々木元氏、歌野原実氏、香川周平氏、川越則昭氏、野坂寛氏)へご健康とますますのご活躍を祈念し、記念品贈呈を行った。

また、平成30年度に各種表彰を受けられた会員((死亡叙位 正六位)故小松昭紀氏(広島県知事表彰)荒川信介氏、(広島市長表彰)荒谷恭史氏、石嶋誠司氏、石田栄作氏、瓜生賢氏、久保康治氏、佐々木元氏、平岡弘光氏、三次みさと氏、三戸敦史氏、本山智得氏(平成30年度広島市学校保健功労者表彰)小笠原健氏、江夏俊央氏、佐藤友之氏(日本歯科医師会会長表彰)上川克己氏)の紹介があった。次に、平成30年度及び本年4月以降の新入会員(藤岡光氏、山根一芳氏、河内勝史氏、鎌田俊之氏、江盛顕司氏、中谷美奈子氏、中田穰氏、石田一輝氏、川越亮利氏、小野裕記氏、柄博

紀氏、中西茂氏、吉田昌弘氏、住田真一氏、千田禎氏)の紹介が行われた。

昨年に引き続き、議長に中本雅志氏、副議長に平尾慶太氏が選出され、総正会員数439名中、出席者68名、議決権行使者313名の合計381名の参加会員数の報告の後、議事録署名者に中区の今村典裕氏と南区の岡野聡氏が指名された。

まず、大西定選挙管理委員長より、1月に実施した次期会長予備選挙において、熊谷宏氏を無投票当選者と決定したことが報告された。

引き続き、会務報告と各部事業報告、平成31年度事業計画及び収支予算報告を本山智得専務理事が行った。創立100周年記念事業報告を川原会長が、役員報酬検討委員会報告を寺迫環委員長が行った。

その他の報告では、救急蘇生委員会について岸本一雄理事、歯科医療安全相談の状況について中島克理事、広島市歯科医療福祉対策協議会の4事業について能美和基理事と小松大造理事、学校歯科健診歯鏡等の滅菌配送事業について、有馬隆理事から報告があった。

続いて議事に入り、下記の議案について、審議され、議案全て可決承認された。

最後に熊谷宏次期会長より会長就任の決意表明ならびに新執行部三役・理事の紹介が行われ、閉会の辞の後、懇親会が行われた。

議事事項

- 第1号議案 平成30年度 貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)並びに 財産目録の承認を求める件
- 第2号議案 平成31年度(令和元年度) 本会会費賦課額並びに その徴収方法について承認を求める件
- 第3号議案 役員任期満了に伴い、理事10名の選任について承認を求める件
- 第4号議案 会長、副会長 及び 専務理事の選定について承認を求める件
- 第5号議案 監事3名の選任について承認を求める件
- 第6号議案 顧問委嘱に関する件
- 第7号議案 広島県歯科医師会代議員 及び 予備代議員の選任について承認を求める件
- 第8号議案 広島市歯科医師会 役員退職慰労金支給規程の一部改正について承認を求める件



挨拶をする川原正照会長(左)と定時総会の様子(右)

支部だより

中区支部

令和元年度 中区支部理事会

日時：6月14日(金)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「小会議室」

波田佳範中区支部長より、5月24日(金)に開催された中区支部総会において上程された令和元年度の事業案が全て可決承認された旨の報告が行われた。承認された事業から主に1. 中区支部懇親会、2. 健康ソフトボール大会の事業展開が協議され、各理事から活発な意見交換があり令和元年度の中区支部の事業の骨組みが決まった。



中区支部理事会の様子

令和元年度 第1回 幟町圏域多職種連携会議

日時：6月21日(金)午後7時

場所：広島YMCA国際文化センター2号館「コンペティションホール」

標記の会が、中区地域保健対策協議会の主催で開催された。宮田真弓広島市幟町地域包括支援センター長による司会進行の下、小西太広島市中区医師会理事の開会挨拶があり講演へと移行した。講演では「中区で起こる自然災害について」と題して福崎健一中区地域おこし推進課事務指導員より、地震や大雨、高潮など中区において想定される災害について、テレビやラジオ・インターネットなどからの情報収集方法や、避難や日頃からの備えについて詳しく解説があ

った。講演後、伊藤欣朗中区医師会理事から総評があり、最後に宮城昌治中区厚生部医務監・(事)健康長寿課課長による閉会挨拶において、「次回会議では、同テーマでグループワーク方式にて意見交換を行う」と予告があり会議を終了した。その後会場を変えての懇親会で名刺交換を行い、多職種間での顔の見える関係を作り終了した。

なお、この会議に本会中区支部からは波田佳範支部長、香川次郎氏、森田薫氏、仁野克明氏、

若林大輔氏、小島将督氏、石田一輝氏の7名が参加した。



会議に参加した中区支部会員

令和元年度 中区支部ソフトボールチーム結団式

日時：6月25日(火)午後7時30分

場所：「RODEO」

有田一喜中区支部理事司会進行の下、波田佳範中区支部長より今年のソフトボール大会の日程や抱負、ならびに練習日程の説明などが行われた。波田支部長の後方部に大型テレビが設置され、プロ野球セパ交流戦(広島対楽天)が放送されていた為、普段以上に参加者一同の視線が支部長に向けられているようであった。

関野憲三顧問の乾杯の音頭により宴が始まり、波田支部長より新入会員の石田一輝氏、小野裕記氏、川越亮利氏が紹介され、三氏それぞれが抱負を述べた。

閉会の挨拶は、7月より副支部長に就任する香川次郎氏によって行われ、お開きとなった。



結団式参加者

東区支部

広島市東区地域保健対策協議会

第1回 在宅医療・介護連携推進委員会及び 第5回 常任理事会・理事会

日時：6月21日(金)午後7時

場所：広島市東区総合福祉センター4階 「多目的室」

標記の会が広島市東区地域保健対策協議会の主催で開催された。

第1回在宅医療・介護連携推進委員会には、佐藤修治東区地対協会長(東区医師会会長)をはじめ、篠原富子東区地対協副会長(東区区長)、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、地域包括支援センター職員、認知症地域支援推進員、介護

支援専門員、東区職員、東区医師会事務局の職域から計29名の参加があり、住吉秀隆常任理事の司会のもと、佐藤修治東区地対協会長の挨拶で始まった。

平成30年度実施事業報告、資源マップの再発送、「多職種研修コーディネーター研修会」についての報告、福木・温品圏域の「認知症けあか

フェ in 上温品」、戸坂圏域の「医療と介護の連携の会」、東区在宅医療・介護推進事業企画会議、第1回在宅医療・介護連携推進委員会(連合)等報告があった。また、今後開催予定の二葉圏域「医療と介護の連携の会」、「TRITRUS 講習会」、「東区在宅サポート研修会～ひがしの在宅支援隊～」、「在宅医療研修会」、「救急蘇生講習会」、「ひがしの絆～摂食嚥下を考える会」、ACP48(寸劇)についての説明があった。

続いて、平成31年度事業と次回の「東区多職種連携の会～ひがしの絆～」におけるACPに関する調査についての説明、協議が行われ、最後に堀内賢二東区地対協副会長の挨拶で閉会となった。

引き続き、第5回東区地対協常任理事会・理事会が佐藤修治東区地対協会長の挨拶で始まった。

平成31年度区地対協事業交付額、連合地対協第1回常任理事会・理事会、連合地対協災害時医療救護検討委員会、東区地対協運営委員会の報告があり、「女性会まつり当日の運営について」の報告では、本会東区支部として歯科相談および口臭測定と細菌測定を行うことを説明した。また、東区かかりつけ医推進事業についても報告があった。その後、平成30年度東区地対協収支決算、平成31年度東区在宅医療・介護推進業務実施計画書、収支予算書の報告、協議がなされ、承認された。

最後に、篠原富子東区地対協副会長の挨拶で閉会となった。それぞれの会議には、東区の歯科医師として本会より能美和基理事と寺迫環東区支部長が出席した。

第14回 東区女性会まつり「健康相談コーナー」

日時：6月23日(日)午前10時

場所：東区総合福祉センター4階「多目的室」

東区地域女性団体連合会の主催により、標記の会が開催された。開会式には本会から寺迫環東区支部長が出席し、祝辞と共に、お口の機能低下への対応や、オーラルフレイルの予防に必要なこと、「食べる」「しゃべる」「笑う」「歌う」ことの大切さなどを説明した。引き続き、4階の多目的室で、東区医師会、広島市薬剤師会、本会東区支部がそれぞれ健康相談コーナーを設置した。医療相談他、血圧測定、骨密度測定、認知機能検査、体脂肪測定、お薬相談などが行われるなか、東区支部からは、寺迫環東区支部長、丸川雅弘氏、安芸歯会東区ブロックから藤井良典氏の3名が出務し、歯科相談、また希望者には口臭測定や細菌測定を行った。口腔乾燥や口

臭を気にされる方も多く、唾液腺マッサージや、お口の機能をアップする体操のパンフレットを用いてオーラルフレイル予防の啓発を行った。歯科コーナーには69名の来場があり、盛会のうちに終了した。



出務した丸川雅弘氏、藤井良典氏、寺迫環氏

広島市翠町地域包括支援センター、広島市南区役所健康長寿課共催 介護予防教室(イキイキ!元気アップ講座第4回)

日時：6月12日(水)午後1時30分

場所：「大河公民館」

南区北大河町の大河公民館にて、標記介護予防教室が開催され、谷巖範南区支部会員(地域歯科保健部委員長)が「口腔ケアの目的と効果」と題して講演を行った。

講演では、歯と口の健康は全身の健康に大きく関わっており、現在の高齢社会において、いかに長く生きるかだけでなく、「いかに自立して健康で暮らせるか」を考慮した健康寿命の概念があることを説明した。また、現在10年前後と言われる天寿と健康寿命との差(寝たきりの時代)を縮める大きな鍵の一つが、「8020」の達成にあると考えられ、これを実現するようセルフケアに取り組んで頂き、我々はかかりつけの歯科医師としてサポート出来ることを訴えた。

講演後、参加者からの活発な質問があり、関心の高さが伺われた。今後も歯と口の健康の重

要性を啓発すべく、地域からの講演依頼には積極的に対応していきたいと考えている。



講演する谷巖範氏

令和元年 南区支部総会

日時：6月12日(水)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

平井由美南区支部理事の司会進行の下、22名の参加を得て南区支部総会が開催された。

玉川幸二南区支部長の挨拶の後、各種委員会報告、新入会員報告、南区支部新役員、広島県代議員の報告、平成30年度事業報告があった。

続いて、審議事項として、松永陽子会計担当副支部長より、平成30年度会計決算報告がされた後、三上浩生監事より監査報告された。

令和元年度事業計画案、令和元年度予算案が上程され、可決承認された。

最後に、吉武政博南区副支部長の閉会の辞により終了した。

南区支部新役員

支部長	古谷知之
副支部長	橋本直典
会計担当	伊達弘恵
理事	河原利哉
	内田雄士
	福井康人
監事	田中政博

南区支部の次期広島県代議員

古谷知之
木村一水
石川 潔
伊達弘恵

各部からの報告

広報部

リンク切れはご容赦を。記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。
最新記事はホームページにてご覧ください。

今月の知っておきたいこと

▼日歯：「経済財政運営と改革の基本方針 2019」について

日歯プレスリリース No. 075 「経済財政運営と改革の基本方針 2019」について(2019年6月22日)

http://www.jda.or.jp/jda/release/detail_84.html

▼社会保障の給付と負担の見直し議論、夏以降に本格化-骨太方針決定、診療報酬の「大胆な見直し」盛り込まず

Yahoo! ニュース(2019年6月22日)

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190621-2245000-cbn-soc-i>

政府は21日の臨時閣議で、「経済財政運営と改革の基本方針 2019」（骨太方針 2019）を決定した。11日に固めた原案をほぼ踏襲し、国・地方の基礎的財政収支を25年度に黒字にするため、20年度政府予算の編成で社会保障費の自然増を高齢化による増加分相当に収める「目安」の設定を継続させる方向性を提示。社会保障の給付と負担の見直しは、次年度の課題としたが、夏以降に具体的な方策の議論を本格化させる。診療報酬について、民間議員が主張していた大胆な見直しは骨太方針2019で盛り込まず、「適正化・効率化を推進」という書きぶりにとどめた。

参考 内閣府 [経済財政運営と改革の基本方針 2019](https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/2019/decision0621.html)

<https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/2019/decision0621.html>

▼食改善で高齢者「フレイル」予防 岡山県がリーフレット作製

山陽新聞(2019年6月20日)

<https://www.sanyonews.jp/article/910332/>

加齢に伴い筋力や認知機能が低下する状態「フレイル」を食の改善で予防しようと、岡山県は高齢者に十分な栄

養摂取などを呼び掛けるリーフレット「食育ナビ～フレイル編～」を作った。

参考 岡山県 健康長寿へあなたをナビゲート「食育ナビ～フレイル編～」を作成！

<http://www.pref.okayama.jp/page/611515.html>

「食育ナビ～フレイル編～」

http://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/611515_5139652_misc.pdf

▼骨太の方針 2019 原案にフレイルと歯科の関係明記

日本歯科新聞(2019年6月20日)

http://www.dentalnews.co.jp/news/detail/2019/index.html#0618_01

政府は11日に開いた経済財政諮問会議で、「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）2019」の原案を公表した。社会保障分野の改革では、「口腔の健康は全身の健康にもつながることからエビデンスを蓄積しつつ、国民への適切な情報提供、生涯を通じた歯科健診、フレイル対策にもつながる歯科医師、歯科衛生士による口腔機能管理など歯科口腔保健の充実、入院患者への口腔衛生管理などの医科歯科連携に加え、介護、障害福祉関係機関との連携を含む歯科保健医療提供体制の構築に取り組む」との文言が明記されている。

▼社会保障抑制、中長期的視点からも給付と負担の見直し「緩めず」-財成審建議

日本医事新報(2019年6月20日)

<https://www.jmedj.co.jp/journal/paper/detail.php?id=12568>

財政制度等審議会（会長：榑原定征 東レ特別顧問）は19日、令和時代の税財政運営の考え方を示した建議（意見書）を取りまとめ、麻生太郎財務相に提出した。

ニュースピックアップ

▼医療器具滅菌せず7人に手術 1人が感染症で再手術

NHK NEWS WEB 2019年5月27日

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20190527/k10011931281000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_011

さいたま市のさいたま赤十字病院で、滅菌処理をしていない医療器具を使って患者7人に手術が行われ、このうちの1人がその後、感染症にかかって再手術を受けていたことがわかりました。

◎さいたま市の赤十字病院で、滅菌処理をしていない医療器具を使って手術が行われ、そのうち1人が術後に感染症を発症し、再手術を受けたそうです。医療器具を滅菌処理する高圧洗浄機の作動スイッチを押し忘れたことが原因のようです。歯科医院においてもオートクレープの作動スイッチがちゃんとオンになっているが確認する必要があります。

▼子どもの虫歯 家計と“関係性”、長崎県が生活実態調査 苦しい世帯ほど多い傾向

長崎新聞 2019年6月5日

<https://this.kiji.is/508649403373814881?c=39546741839462401>

長崎県が昨年初めて実施した「県子どもの生活に関する実態調査」によると、家計が赤字で借金をしている世帯では13.4%の子どもが虫歯を治療していなかった。

◎長崎県では、家計が苦しいほど、子どものむし歯が多く、治療もせずに放置されている割合が高いことが、調査の結果明らかになりました。経済格差が健康の格差となって表れており、せめて歯科医院での窓口負担を減らすことによって、少しでも受診率を上げる必要があると思います。

▼「痛み止め」で薬物依存に!?

メディカルトリビューン 2019年05月24日

<https://kenko100.jp/articles/190524004840/#gsc.tab=0>

本日(5月24日)から全国ロードショーされる米映画『ベン・イズ・バック』。怪我の治療で鎮痛剤を過量投与され、やがて薬物依存に陥ってしまった青年ベン・バーンズと、彼を時に厳しく時に優しく見守る母親のホリーを中心に描く家族の絆の物語だ。

◎鎮痛剤を医師から処方されたときに、指示通り使わなかったり過量投与などで薬物依存症になることが欧米では問題になっているようです。そういえばマイケルジャクソンさんも確か鎮痛剤の過量投与で中毒死したように記憶しています。「たかが鎮痛剤」とあなどらず(中には副作用で命を落とすこともある)薬剤はあくまでも作用と副作用があるものだと意識して使用しなければなりません。

▼【高額薬再び 大きなリスクか 小さなリスクか】新薬ブーム

産経ニュース 2019年5月14日

<https://www.sankei.com/life/news/190405/lif190405016-n1.html>

「使い方の見直しが必要」

インフルエンザが日本列島を席卷したこの冬、ちょっとした“新薬ブーム”が起きた。

◎前回のニュースピックアップで、ゾフルーザについての記事の特集しましたが、1回だけで効く薬ということで、かなりのブームとなったみたいですが、現実問題として、耐性ウイルスの発現が報告されてしまいました。薬は適切な使い方をして長い寿命を持たせるべきで、それしか効かない患者に使い、薬を育てることが必要という専門家の発言は非常に納得のいくものです。国家全体で薬というものを、もっと真剣に考えないといけないのではと思います。

▼医療保険の扶養家族、国内居住のみ…改正健保法成立

yomiDr 2019年5月15日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20190515-0YTE150006/?catname=news-kaisetsu_news

公的医療保険制度の適正化を図る健康保険法などの改正法は15日午前の参院本会議で可決、成立した。

◎グローバル化が進む中、日本国内で働く外国人労働者は年々増加しつつあります。労働者の健康保険は必要ですが、その際、外国人労働者の家族をどう扱うべきかが問題となっています。「実際には日本に在住していないのに、来日して医療保険で治療を受けて帰国する。」という例が見受けられ、このような措置が取られるようになったようです。

▼認知症数値目標は実現可能 厚労相、70代発症抑制

産経ニュース 2019年5月17日

<https://www.sankei.com/life/news/190517/lif190517021-n1.html>

根本匠厚生労働相は17日の記者会見で、認知症対策の新大綱素案に掲げた「70代の発症を10年間で1歳遅らせる」との数値目標に関し、「実現可能性のある目標だと考えている」と述べた。

◎この度、政府が「70代の発症を10年間で1歳遅らせる」と、具体的な数値目標をかけた、新大綱素案を提示したとのニュースです。団塊の世代の高齢化に伴い、医療費、介護費用が増加していくのは確実で、さらに認知症を伴う場合には、医療費、介護費用は更に増加していきます。認知症予防法は確立されていませんが、これが実現するとQOLは確実に向上されます。今後の動向に注目です。

▼がん経験者向けSNS始動

産経ニュース 2019年5月10日

<https://www.sankei.com/life/news/190510/lif190510019-n1.html>

日本対がん協会は、がん経験者や家族向けの会員交流サイト(SNS)「サバイバーネット」の運用を始めた。登録すれば無料で利用できる。外出がづらい治療中の患者でも、インターネット上で年齢が近い人や同様の治療の経験者らと情報交換したり、一緒に活動したりするのを助けることが狙い。URLは、<https://sns.gsclub.jp/>

◎プロジェクトメンバーの一人である阿萬和弘さんは、昨年、27歳のときに甲状腺がんと診断され、治療と向き合いながらサービス開発に関わる中で、気持ちに変化があったということでした。自分のづらい経験を、また同じように経験する誰かのために役立てたいと思われ、この経験がほかの人にも役立てられるので、という思いに至ったそうです。有用に利用されることを期待しています。

▼人工血管を患者に移植 バイオ 3D プリンターで作製 佐大チーム

西日本新聞 2019年5月28日

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/513677/>

佐賀大医学部の中山功一教授(臓器再生医工学)らの研究チームが、人間の細胞から立体的な構造体をつくる「バイオ3Dプリンター」を使い、人工透析患者の皮膚から人工血管を作製し、患者に移植する臨床研究を始める見通しとなった。

◎人間の細胞から立体的な構造体をつくる「バイオ3Dプリンター」というものがあるそうです。このバイオ3Dプリンターを使って人工血管を作成することが出来たそうです。この技術を今後発展させて、人工的に歯牙が作成できるようになったらこれまでの歯科治療も大きく変わっていく可能性があります。今後注目する必要があると思います。

▼1回3349万円…超高額薬キムリア、22日から保険適用 薬価の在り方に一石、患者側は期待も

産経ニュース 2019年5月21日

<https://www.sankei.com/life/news/190521/lif190521039-n3.html>

既存の治療法が効かない一部の白血病患者らへの新型治療薬「キムリア」に対する公的医療保険の適用が22日に始まる。3349万円の薬価は1回当たりでは過去最高額。

◎超高額薬をめぐっては、「オブジーボ」が思い浮かぶ方が多いと思いますが、このオブジーボに続き、超高額薬のキムリアが、いよいよ保険適用されます。医療保険制度にとっては財政的に苦しくなるでしょうが、患者さんやその家族にとってはどんなに高額な治療でも、その病気が治る可能性が1%も望みがあるなら治療をうけたいところだと思います。以前にも記載しましたが、どこ

まで保険で治療を可能にするかという問題を真剣に考えていかなければならないかと思います。

▼マイナンバーカード 健康保険証代わりで普及を

NHK NEWS WEB 2019年6月4日

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20190604/k10011939991000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_006

政府は、マイナンバーカードの普及に向けた総合対策を取りまとめ、令和4年度中に、おおむねすべての医療機関でカードを健康保険証の代わりに使用できるようにすることを目指すほか、公務員などは今年度中にカードを取得するよう推進するとしています。

◎政府は令和4年度中にすべての医療機関でマイナンバーカードを健康保険証の代わりに使用できるように目指す方針のようです。これによって、レセプトコンピューター等のシステムを更新しないといけなくなった場合、その設備投資が医院にとっての負担になる可能性が高そうです。

▼たった16分の寝不足が仕事に悪影響？

メディカルトリビューン 2019年06月13日

<https://kenko100.jp/articles/190613004864/#gsc.tab=0>

睡眠不足が身体の不調を招くことはよく知られている。しかし、具体的にどのくらい不足すると私たちの生活に悪影響が及ぶのだろうか？米・University of South FloridaのSoomi Lee氏らが同国の労働者を対象に実施した調査から、その答えの1つが示された。

◎「労働者の睡眠は、日常的な集中力の不足などによって感じるストレスの影響を受けやすいと同時に、そのストレスの原因にもなることを示している」と考察されたそうです。いわゆる悪循環ですね。それにしてもたった16分睡眠時間が短いだけで、集中力が低下するとは。

▼ゲーム依存症は「精神疾患」…WHOが分類改訂

yomiDr 2019年5月27日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20190527-0YTE150003/?catname=news-kaisetsu_news

世界保健機関(WHO)は25日、スイス・ジュネーブで開かれている年次総会の委員会で、オンラインゲームなどにのめり込み、生活や健康に深刻な影響が出た状態を「ゲーム障害」(ゲーム依存症)と呼び、精神疾患と位置付ける「国際疾病分類」を正式決定した。

◎現代生活の一部となっているスマートフォン。当初は電話機としてマナーの低下を指摘されていましたが、今や人によっては生活の大半を占める存在となってしまい、いろいろな功罪が取りざたされるようになってきました。ゲームをやめられない依存症から、気が付いたらスマホを操作している携帯依存の状態。さらには視覚異常(内斜視)の原因にまでなっているようです。便利な道具なので適正な利用法が必要です。



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオスタート
「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

7月3日放送分

「スポーツと歯の関係について」

広島市歯科医師会 有田一喜氏

「芸能人は歯が命」は、ひと昔前に聞いたフレーズと思いますが、最近「スポーツ選手は歯が命」とよく聞きます。芸能人やスポーツ選手だけでなく、どんな人にとっても歯が命ですが、スポーツ選手が最高の実力を発揮するには、日頃からのメンテナンスが欠かせません。そのスポーツと歯の関係について広島市歯科医師会の有田一喜先生がお話しします。お口に関する悩みや質問はメール dental@chupea.fm、FAX 082(297)7660 へ。

7月17日放送分

「歯科医療の変遷について」

広島市歯科医師会 広報部

平成から令和に年号が変わり、SNS の普及も浸透し便利な時代になりました。しかし、人間の身体は大きく変わる事はありません。今も昔もお口の悩みはあまり変化が無いように思います。歯科医療の移り変わりについて、また、これまでにいただいた質問などをまとめて、広島市歯科医師会の先生がお話しします。歯に関する悩みや質問はメール dental@chupea.fm、FAX 082 (297) 7660 へ。

6 月定例理事会報告

「部外報告」

- 5月22日 警察歯科小委員会
- 〃 広島死因究明センターと協議
- 5月24日 広島市連合地区地域保健対策協議会理事会
- 〃 警察歯科幹事会
- 5月25日 法歯学会打合せ
(日本歯科大学との協議)
- 5月26日 第70回指定都市学校保健協議会
(新潟市)
- 5月27日 令和元年度第1回歯周病予防普及啓発事業実行委員会
- 5月29日 日本歯科医師会議事運営委員会
- 5月31日 法歯学会打合せ
- 6月3日 (県)代議員会議事運営協議会
- 6月5日 元気じゃけんひろしま21(第2次)推進会議 働く世代の健康づくり部会及び健康づくりを支える社会環境整備部会
- 6月8日 (県)第145回代議員会
- 6月10日 広島市連合地対協「災害時医療救護検討委員会」

- 6月11日 広島市障害者差別解消支援地域協議会
- 〃 てんかんセミナー打合せ
- 6月12日 警察歯科役委員会
- 6月13日 県警本部挨拶回り
- 〃 広島大歯科麻酔科との協議
- 6月13-14日 第190回日本歯科医師会代議員会
- 6月20日 加藤広大歯学部長との協議
- 6月4日 再審査
- 6月20-25日 社保診療報酬審査(合議25日)

(連盟関係)

- 5月25日 みぞて顕正氏事務所開き
- 5月26日 橋本聖子先生を囲む会
- 6月1日 松井かずみ氏後援会総会
- 6月19日 「ゆざき知事を囲む県政懇談勉強会2019年6月度」
- 6月21日 比嘉なつみ氏決起大会
- 6月23日 みぞて顕正氏を支援する会

「総務関係」

- 5月22日 広島東洋カープ観戦の集い

5月24日 次期執行部三役会
 5月28日 広島市歯科医師会選出県歯代
 議員打合せ会議
 5月29日 サイボウズ説明会
 5月30日 おくちの健康展第2回代表者会議
 6月4日 次期役員打合せ
 6月9日 第35回おくちの健康展
 6月18日 おくちの健康展反省会
 6月19日 第2回支部長・副支部長会
 6月24日 三役会
 6月25日 専務業務引き継ぎ
 6月26日 定例理事会
 ” 慰労会

(慶弔関係)

5月20日 東区支部 平岡弘光先生ご尊
 父様ご逝去
 6月6日 東区支部 津谷敏樹先生ご母堂
 様ご逝去
 6月16日 故山科県歯会顧問弔問

(入会退会関係)

(県歯理事会関係)

6月5日 県歯理事会

(1) 総務部 (中島理事)

6月9日 第35回おくちの健康展
 6月10日 広島市連合地区地域保健対策協
 議会災害時医療救護検討委員会
 6月14日 総務部委員会

(2) 学術部 (岸本理事)

6月1日 定例委員会
 6月9日 第35回おくちの健康展
 6月20日 救急蘇生委員会対応

(3) 保険・医療対策部 (瓜生理事)

5月22日 広島東洋カープ観戦の集い
 5月23日 国保連合会審査部会意見交換会
 5月28日 広島市歯科医師会選出県歯代
 議員打合せ会議
 6月1日 (県) 参与会
 6月4日 次期執行役員打合せ
 6月8日 (県) 第145回代議員会
 6月9日 第35回おくちの健康展
 6月11日 定例委員会
 6月13日 (県) 保険部常任委員会
 6月19日 国保連合会歯科再審査部会
 6月20-24日 国保連合会歯科審査部会
 6月20日 国保連合会審査部会全体委員会
 6月21日 比嘉なつみ氏決起大会
 6月22日 (県) アップデート講習会
 6月23日 みぞて顕正氏を支援する会

(4) 地域歯科保健部

5月22日 (県) 地域保健部、学校保健部、
 介護・福祉医療部、口腔保健セ
 ンター部常任委員会

5月30日 おくちの健康展第2回代表者会議
 6月9日 第35回おくちの健康展
 6月18日 おくちの健康展反省会
 6月19日 (県) 地域保健部、学校保健部、
 介護・福祉医療部、口腔保健セ
 ンター部常任委員会

<学校保健> (有馬理事)

5月24日 (南区地対協) 南区在宅医療・介
 護推進連携委員会 市民公開講
 座第1回企画会議
 5月25日 第70回指定都市学校保健協議
 会(新潟市)
 5月26日 第70回指定都市学校保健協議会
 (新潟市)
 6月13日 (南区地対協) 南区在宅医療・介
 護推進連携委員会 区域研修会
 企画会議
 6月18日 (南区地対協) 南区在宅医療・介
 護推進連携委員会 市民公開講
 座第2回企画会議

<地域連携> (小松理事)

5月28日 県歯代議委員会打合せ会
 5月31日 休日診療レセプト点検
 5月31日 休日診療レセプト点検(県歯衛連) 後期
 高齢者歯科健診
 第1回準備委員会
 6月2日 (県) 子育て応援団すこやか2018
 6月8日 (県) 第145回代議員会
 6月22-23日 (県) スポーツ歯科医学会
 6月24日 (中区地対協) 第12回吉島圏域
 多職種連携会議
 第2回小委員会
 6月25日 (中区地対協) 第10回幟町圏域
 多職種連携会議反省会

<地域保健> (能美理事)

5月23日 FMちゅーピー収録
 (妊婦歯科健康診査事業について)
 5月27日 令和元年度第1回歯周病予防普
 及啓発事業実行委員会
 5月29日 サイボウズ説明会
 5月30日 ホームテレビとの打合せ
 6月5日 元気じゃけんひろしま21(第2
 次) 推進会議 働く世代の健康
 づくり部会及び
 健康づくりを支える社会環境
 整備部会
 6月21日 (東区地対協) 令和元年第1回広
 島市東区在宅医療・介護連携推
 進委員会
 6月23日 みぞて顕正氏を支援する会
 福祉対策協議会実績状況

(5) 広報部 (橋岡理事)

5月23日 FMちゅーピー収録
 5月30日 第35回おくちの健康展 第2回
 代表者会議委員会
 6月2日 「あさきた2019 歯の祭典&健康
 展」(協議会: 安佐) 広島ホームテレビ
 取材

- 6月 3日 委員会
- 6月 9日 第35回おうちの健康展
広島ホームテレビ取材
- 6月10日 委員会(情報発信)
- 6月18日 委員会(情報調査部)
- 〃 第35回おうちの健康展 反省会
- 6月20日 FMちゅーピー収録
- 6月23日 「ふれあい歯っぴーフェスタ
2019」(協議会:佐伯)
広島ホームテレビ取材

FMちゅーピー(新聞掲載)

- 7月 3日 「スポーツと歯の関係について」
広島市歯科医師会広報部副委員長
有田一喜氏
- 7月17日 「歯科医療の変遷について」
広島市歯科医師会広報部理事

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

ホームページアクセス数
 一般サイト 訪問者 2,842 (累計 130,414)
 ページビュー 11,806 (累計 421,104)
 会員サイト 訪問者 193 (累計 27,522)
 ページビュー 632 (累計 210,795)
 広報部 … Talking Heads<最新情報>
 掲載件数 48件(5/21~6/20)

(7) 特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

6月20日 救急蘇生委員会出動対応(中区)

(9) 創立100周年記念事業について

6月13日 創立100周年記念誌発送

(10) 各部事業計画について

(11) 歯科医療安全相談

6月12日 相談 入れ歯について
(70歳代女性)

「協議事項」

(1) 会費について(2名)

終身会員資格取得による会費額変更について2名承認。

(2) 入会について(1名)

南区支部の千田禎氏の入会について承認

(3) 第112回定時総会について

内容について確認・協議

(4) その他

特になし

「その他」

退任理事感謝状手交

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局 E-Mail: hiroshima@dentalpark.net

広報部担当理事 水内裕之 E-Mail: mizuuchi.shika@gmail.com

広島市歯科医師会ホームページ <http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : **Futaba**

P A S S : **2622662**

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672



